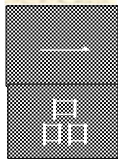


# こぼれ話

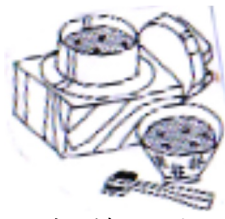
5月5日は昔から端午の節句といい、子供の日である。もともとは菖蒲の節句と呼ばれ、臭気の強い菖蒲を軒下につるしたり菖蒲湯に入ることで厄を払うとされたそうだ。そんな季節の変わり目のあれこれを大事にしている家庭があった。子供の日の午前、おじいちゃん孫の成長を願って近くの神社にお参りに出かけた。出かけたのはじいちゃん、息子夫婦にその子供の4人だ。じいちゃんはその説明を聞いて「お賽銭はいくらやればいいんだ？」と聞いた。「いぐらつてそれは気持ちづだべ」。息子夫婦は少し迷った。そして嫁に話した。「千円じゃ少なえべが」と。その声が聞こえたじいちゃんと言った。「千円札ではだめだ!」「じゃ2千円?」「馬鹿!札はだめだ!」。息子「なんでや?」「効果かねえべ!」(硬貨なし、か)

## わが家の



### 「わらびとタケノコと油揚げの煮物」

「材料」わらび、タケノコ、油揚げ、醤油、みりん、料理酒、サラダオイル、出の素。



「つくり方」旬のわらびとヒメダケをいただきまぜを加えて煮物を作つて「けろ」とクエとスト。娘も大好きで早速料(嶺山/Y・K)

## サケ回帰率

回帰率向上で一般漁民にも恩恵が広く行き渡るように海水温の大きな変化の原因は?

海水温の変化/5月中旬までは平年以下で6月7月中旬までは高い。気象庁の「海水温平年差」統計によれば青森、岩手、宮城沖の東経145度〜147度、北緯37度〜45度付近の海水温の平年差は、○5月中旬まではマイナス5℃〜3℃。○6月〜7月中旬までは逆に+3℃〜2℃と大き



## 読者の文芸欄

野も山もみどりこいしき冬の朝血の胡瓜のさわやかなりき  
グローブとミットで互いに口ふさぎグラントの真ん中で密談をなす  
自注/いよいよ夏の季節となりました。泳ぐ所がいっぱいあるといひね。

この変化に対応したふ化放流の時期などは正栽培センター等の改善提案の内容は、●ふ化場間での稚魚収容替えで発育の促進、サイズの適正化をはかる。●放流時期の適正化と分散放流でリスクの回避。●放流時間帯の厳格化(夕方から放流する)などです。さらに栽培センターでもいえるサケシンポが開催されます。多くの英知を結集し、サケの恩恵が一般漁民にも行き渡るようにすべきです。

## 家賃はどうなる? 高まる不安。減免の周知徹底を

### 県の家賃減免制度に市も倣う



災害公営住宅入居者から「これから家賃はどうなるの?」という不安の声が広がっています。宮古市は県の減免制度と同様に、現状での課題/低所得者と高額所得者の課題 ●低所得者の場合 国の家賃低減制度では、入居者の政令月収が80000円以下の場合、入居後6年目以降は段階的にこの低減措置が縮小し、11年目から通常の家賃額になります。

政令月収の計算式は。(世帯の年間総所得額-控除額)÷12です。年間総所得額とは給与所得者の場合年収の約6割で、早見表でみると年収65万999円までは所得ゼロです。なお低所得者とは政令月収額が10万4000円以下です。[具体例] 政令月収ゼロの場合/入居1~5年は月の家賃は6800円、8~9年目は14500円、そして11年目以降は22200円となります。 ●高額所得者の場合 次に3年以上の入居者で政令月収額が158000円を超える方(収入超過者)はその額に応じて家賃が上がります。[具体例] 政令月収額が158000~186000円の場合/入居1~3年は37700円、5年目60700円、8年目以降94500円に。



今年もヤマメ、イワナの美味しい食べ方についての問い合わせが来ている。本来釣り吉が奥さんに伝授すべきことだが、そうならない現状の表れか。ひやまず。小さいものはやはりから揚げが最適だと思われる。ヤマメのパールマークが見えてとてもいい。大きいものはムニエルがやはりいい。腹を裂き血合いを取り、ぬるめも取り、薄力粉で薄めに覆い、バター、オリブオイルで焼く。塩コショウをまぶし、白ワインがなくなるまで蓋をして仕上げる。付野菜はニンジンとブロッコリー、もしくはホウレン草がいいかも。いずれも酒、アルコールのつまみに最高! 妻を喜ばせるのも釣り吉の務めだ...!

